

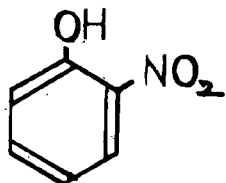
# 0-ニトロフェノールの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年9月6日～昭和51年11月9日

2. 試料名 0-ニトロフェノール(試料名K-251)

分子式  $C_6H_5NO_2$

構造式



性状 純度 99.8%(GCによる)

組成 他成分 水分 0.06%

凝固点 44.6℃

比重 1.66(20℃)

溶解 熱水に可溶

(提示資料による)

## 3. 試験方法及び条件

環保業第5号

薬発第615号

49基局第392号

微生物等による化学物質の分解度試験による

### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

### 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

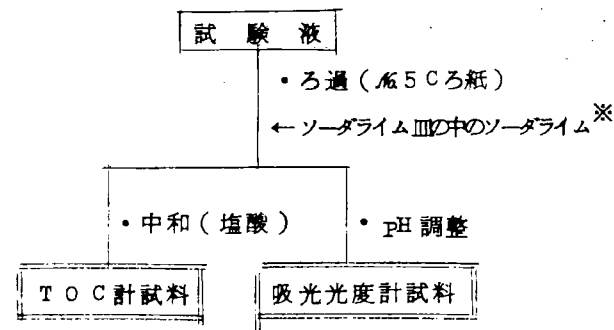
## 3.3 生分解試験後の直接定量法

### (a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

紫外可視自記分光光度計

### (b) 分析試料の前処理



※

生分解試験中供試物質がソーダライムに吸着し黄色くなった。そこで供試物質を回収するためソーダライムを洗いこみpH調整後直接定量用の試料とした。

### (c) 分析条件

全有機炭素分析計(TOC計)

流速 TC回路 200ml/min

温度 TC炉 900℃

紫外可視自記分光光度計(吸光光度計)

波長 250nm～370nm

スリット幅 4nm

使用セル 石英セル 10mm

#### 4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
T O C 計による結果	3.3	2	1
吸光光度計による結果	4.5	3	2

#### 5. 備 考

- a) 供試物質は水溶液の pH の変化により UV パターンに変動があるため安定した UV パターンを得るため pH をアルカリ性に調整した。

なお、UV 分析における pH は次のとおりであつた。

基礎呼吸 11.0, 汚泥系 <sup>10.9</sup>11.1, 10.9, 水系 11.2, 11.2

- b) 供試物質は水系, 汚泥系共に溶解したが液は黄色くなつた。
- c) クーロメーター取出し時、水系, 汚泥系共液は黄色であつたが汚泥系の方が黄色が濃かつた。
- d) クーロメーター取出し時の pH は基礎呼吸 7.0, 汚泥系 6.8, 6.8, 水系 6.2, 6.0 であつた。

以 上